(c)宮崎日日新聞社

長年の献血運動感謝

推進県民大会26団体表彰

宮崎市



みやざき愛の献血運動推進県民大会（日本赤十字社県支部、県など主催）は18日、宮崎市のメディキット県民文化センターで開かれた。献血運動に尽力している26団体を表彰し、長年の社会貢献活動をたたえた。

主催者を代表して河野知事が「若い世代に献血への理解が得られるよう活動していく」とあいさつし、厚生労働大臣表彰状を受けた明光社（宮崎市）などの代表者に表彰状や感謝状を授与した＝写真。

厚生労働大臣感謝状を贈られた高鍋舞鶴ライオンズクラブ（木城町）の杉尾浩一会長の「今後も献血を通じて、安心して医療を受けられる社会の実現へカを尽くす」という受賞者代表あいさつが代読された。

大会では、宮崎公立大の山下裕亮准教授（観測地震学）による「巨大地震発生時における情報の受け取り方」と題した講演もあった。

県赤十字血液センターによると、県内の献血者数はここ数年４万人前後で推移しており、昨年度は４万１７３人（前年度比１４４１人増）だった。

（鳥越眞也）